


## 「より繁栄し安定した世界のための日米協力に関するファクトシート」

2015年の日米サミットにて

平成27年4月28日

### 二国間の経済的及び人的つながりの拡大

日米両国は世界最大の経済大国の二つであり、世界の国内総生産(GDP)の30%近くを占めており、両国の経済は貿易と投資を通じて深く絡み合っている。この深い経済統合は、両国にとって雇用創出、賃金上昇、イノベーション及び更なる繁栄のための卓越した推進力となってきている。こうしたきずなを更に発展させるため、日米両国は以下のとおり取り組む。

- 日米両国の経済的なきずなを更に深化。2014年の日米間の双方向の物とサービスの貿易額は2,790億ドルであった。米国の日本に対する直接投資残高は1,230億ドルであり、日本は米国に対する直接投資残高が二番目に多い国であり、残高は3,500億ドルに近い。
- 両国間の強固で成長している二国間投資関係の重要性に留意しつつ、セレクトUSAとInvest Japanとの間の協力及び協働を拡大。
- 米国のグローバル・エントリー・プログラム(GEP)への日本の参加及び日本の信頼できる渡航者プログラム(TTP)への米国の参加により迅速な旅行を促進。
- 両国経済の将来の成長のための投資としての高速鉄道開発の重要性を認識しつつ、高速鉄道プロジェクトを含む日米それぞれにおけるインフラ開発についての協力を拡大。
- 学生、研究者及び議員間交流の増加に向けた取組を含む、人的なつながりの強化を継続。「[未来へのカケハシ・イニシアティブ](#)」及び「[TOMODACHIイニシアティブ](#)」並びに大学間パートナーシップ促進のための「[チーム・アップ](#)」キャンペーン及び国際交流基金によるプログラムを促した日米文化教育交流会議の継続的な取組を歓迎。